

ACTUS

月刊北國アクタス

2020年7月号掲載



3年後に創業半世紀

「抗菌社会」へ先手を打つ



好評だった次亜塩素酸水の無料配布＝アドバンス北陸サービス小松営業所

石川・富山両県で総合清掃サービス業を展開する株式会社アドバンス北陸サービス(本社・金沢市)は、創業半世紀を3年後に迎えます。清掃の個人商店から起業した今85歳の杉本清壽(せいじゅ)会長、その長男で一時の経営危機を乗り越えた53歳の健一社長、そのまた長男で昨年入社したばかりの27歳、優也社員。親子三代が顧客も従業員も心でつなぐ会社を牽引(けんいん)してきました。新型コロナウイルスショック後の「抗菌社会到来を見据え、打つべきは先手。衛生第一を貫き、エコロジーを念頭に置いた業務を推進しながら、きれいな街づくり」に寄与する経営方針に益々磨きをかけています。

見えない敵との闘い

2020(令和2)年4月のある日、週に1回、小松営業所に顔を出す

杉本清壽会長は幹部の前に、珍しく高揚した口調で語り始めました。「これ(新型コロナウイルスショック)は今まで経験したことのない、見えない敵との闘いや、清潔な環境を提供し続けてきたわが社にとっては真価が問われる正念場やぞ」

健一社長も、下風外茂一特別顧問も神秘的な表情でうなずきました。



小松営業所内に設置された次亜塩素酸水生成機

*エコロジー 狭義には生物学の1分野としての生態学のことを示すが、広義には生態学的な観点からの社会的・経済的・文化的な思想や活動の一部または全部を指す言葉として使われる。アドバンス北陸サービスでは、洗浄水に地球に優しい電解水を使うなどエコロジーを推進している。

新型コロナと向き合う



一日の計は朝礼にあり。杉本社長(右)以下、行動指針を確認し合う
=小松営業所

では具体的には何をすればよいのか。会長が指示したのは金沢市に10数カ所の老人福祉施設を展開する、長年の取引先、社会福祉法人「北伸福祉会」への、大量のマスク寄贈でした。

アドバンス北陸サービスにとってマスクは日常業務の必需品です。「在庫はどれだけあるがや」と清壽会長。倉庫には、マスクを詰めた段ボール箱が見つかりました。

「よっしゃ、善は急げ」。翌日、会長と社長と2人で、北伸福祉会を訪ね、箱詰めしたマスク1000枚と除菌用アルコール4・5リットルを贈呈。小松栄子理事長は目を潤ませて御礼の言葉を述べ



SDGsをテーマに打ち合わせをするスタッフ=小松営業所

ました。日を置かず、小松市内の老人福祉施設「松寿園」にも足を運び、同じ枚数のマスクと同量の除菌用アルコールを寄贈しました。

「まだできることはないが」。清壽会長はさらに善行を督促しました。そこに健一社長から示されたのが、小松市への次亜塩素酸水生成機の寄贈。次亜塩素酸水は除菌効果があるとされ、清掃に活用したり、手指洗浄に使うため、自社で生成しています。

小松営業所の倉庫には事業所の清掃などに使う次亜塩素酸水の生成機があり、5月11日から29日までの月々金曜日、営業所前の駐車場の一角にテントを張り、次亜塩素酸水の無料配布を行いました。毎日制限無しです。初日には市民ら約200人が容器などを持って訪れ、1日平均20人が利用しました。

株式会社アドバンス北陸サービス
総合ビルメンテナンス業。本社は金沢市長田2丁目。1973(昭和48)年2月創業、88(同63)年4月法人設立。資本金1千万円。業容は日常定期清掃、緑化、塗装、線引き業務など。決算期3月。2019(令和元)年度売上高3億6千万円。従業員数170人。営業所は小松、白山、能美、氷見、富山の各市。

*次亜塩素酸水 厚生労働省により、2002(平成14)年に指定、12(同24)年に改訂された食品添加物(殺菌料)で、10~60mg/kgの有効塩素濃度を持つ酸性電解水に付けられた名称。安全性について食品安全委員会の評価を受け、人の健康を損なう恐れがないということで、提供者が利用者に成分の規格や使用の基準を明確に表示した上で使用が認められている。



SDGsを創っていく喜び



清浄度測定器を導入

この春、新たな顧客先に金沢市の都市型ホテルが加わりました。香林坊に立地するホテルで、客室を除く全館の通路、宴会場、トイ

レ回りの清掃を担当します。当初、5月から始まる予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、同ホテルも休業を余儀なくされ6月からの正式スタート。ここで杉本社長は、昨年1月か

新たな顧客先のホテルで清掃する従業員＝金沢市内



手軽に測定できる清浄度測定器

ら導入した「清浄度測定器」を本格的に運用することになりました。これは、机などの表面に付着した菌類を含む有機物、つまり汚れをデジタル数値化して示す機器です。清掃スタッフが事前事後にこれを使い、清潔なホテル空間を維持管理していくというものです。実は、この試みはアドバンス北

陸サービスが進めているSDGs（持続可能な開発目標）として掲げた具体的目標の一つで、国連が策定したSDGs到達目標17項目の第9項目「強靱なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及び技術革新の推進を図る」に該当します。従来はベテランスタッフの経験と勘に頼りがちだった清掃の結果を、先端機器で「見える化」することにより、施主の安心を得るとともに、清掃スタッフの達成感を満たす効果があります。アドバンス北陸サービス版SDGsの筆頭は「働きがいも経済成長もある会社」です。このため、人手不足下でも行き届いた清掃を提供できるように、社会的弱者を積極的に受け入れ、それぞれの能力と適性を見極めて職場配置するように心がけています。プロジェ

アドバンス北陸サービス 主な顧客先

官	石川県いしかわ特別支援学校
	いしかわ生活工芸ミュージアム
	石川県九谷焼美術館
	白山市松任学習センター
民	株式会社 小松製作所 粟津工場
	株式会社 小松製作所 金沢工場
	株式会社 小松製作所 コマツウェイ総合研修センタ
	株式会社 石川製作所
	高松機械工業株式会社
	小松ウオール工業株式会社
	日野トレーディング株式会社
	旭丘団地協同組合
	セコム北陸株式会社
	株式会社ほくつう
	株式会社アイ・オー・データ機器
	合同会社DMM.com
	サンコロナ小田株式会社
	和倉温泉 加賀屋
	金沢東急ホテル
	ANAクラウンプラザホテル金沢
	社会福祉法人 北伸福社会 朱鷺の苑グループ
	社会福祉法人 南陽園
社会福祉法人 加賀福社会 ケアハウス和(やわらぎ)	

(順不同・2020年6月現在)

*社会的弱者 ここでは心身しょうがい者や高齢者、引きこもりの人たを指す。

きれいな町づくりに一役

クトチームを組織し、これ以外にも数値目標を設定し臨んでいきます。

働きたい意思のある人たちこそ、今後AI*導入が進んでも、「人ならではのいい仕事」をしていくと考えるからで、杉本社長は社員として受け入れた以上、一人ひとりを大切にしていきたいと思っています。

「従業員と顧客の双方を大切にしてきたからこそアドバンス北陸サービスの今日がある」と力説するのは老いてますます意気軒高な杉本会長です。同社の主な顧客先は自治体先が石川県立いしかわ特別支援学校など、民間先は小



フラワーポットに花苗を移植する杉本会長(右端)、社長(左端)ら=アドバンス北陸サービス小松営業所



小松営業所近くの道路脇に花苗を植え込む従業員=小松市城南町

常に顧客目線で行動していく基本を守り、さらなる業務拡大につなげたいとしています。

これは地域貢献で実行してきました。清掃業は顧客先の環境をきれいに保つことですが、きれいな地域環境の保全本もまた大事です。

アドバンス北陸サービスでは、自社ビルのある小松市が主催する「フーラルこまつ」という「きれいな町づくり」に賛同

し、花いっぱい運動を進めています。フラワーポットは同社で用意し、5月下旬のある日、小松営業所前でパンジーなど色とりどりの苗をポットに植え込み、周辺の道路脇などに置きました。

花は人の心を潤し、環境美化の一端を担うというのが杉本会長夫妻の持論で、志眞子夫人は金沢本社で消臭できる造花鉢をつくり社会福祉法人などに届ける役割を担っています。また会長もふるさとの母校に桜の苗木を寄贈するなどして、地域貢献に寄与しています。

松製作所栗津工場など有名企業が名を連ねています。

杉本会長は富山県城端町(現・南砺市)出身で中学校を卒業すると家計を助けるため、すぐ社会人

今や売上高の35%が地元上場企業という結果を出しています。

今後顧客の期待に応えるため、

*AI Artificial intelligence. 人工知能のこと。言語の理解や推論、問題解決などの知的行動を人間に代わってコンピューターに行わせる技術。代表格はロボット。

3世代、100年続く会社を目指す



▲三世代水入らずで談笑する左から杉本優也さん、社長、会長、志眞子さん。右小松営業所



▲【アドバンス北陸サービスのゆるキャラのせーちゃん(左)、シーちゃん】創業者の想いを遺すために作成したゆるキャラ。ビルがピカピカになって喜ぶのが顧客先、その笑顔を見て喜ぶのが創業者の想い

「アドバンス北陸サービスは同族会社です。しかし、会社では親子関係は捨てなければなりません。親子だと甘えが出てしまい、第三者が入れない空気が生まれ、ひいては経営者が裸の王様になってしまうからです。私たちは常にお客さまのニーズに応えるため、現場からの声を大切に、次の一手を打たねばなりません」

こう語る健一社長にとって、ともううれしいことが昨年から今年にかけて相次ぎました。

昨年4月には長男の優也さん

(27)が入社しました。社長にとっては長年の懸案で、さらに昨年末には女子社員(23)、ことし4月にも同年齢の女子社員が入社したのです。清掃会社の従業員の大半は女性で、現場作業はベテランの女性スタッフがリードするケースが少なくありません。しかし、若手社員が新感覚で就業すると、職場に活気が生まれます。

「有難いことです。若い人がまた若い人を呼ぶ。優也も友人らに声をかけてくれているようです」杉本社長は若者に伸び伸びと仕事をしてほしいと望みます。もちろん、実子にも。優也さんは平社員。「文字通り、雑巾(ぞうじん)がけから学べ」と特別扱いは致しません。

優也さんは金沢学院大学を卒業し、5年ほど地元のアパレル業界で働いていました。その仕事は「根っから好きだった」そうです。

ところが一昨年、父の健一社長から「来てくれないか」と転職を持ちかけられました。「1カ月ほど考えさせてほしい」と悩んだ末、結論は「この会社で働きます」でした。あれから1年経ち、優也さんは「毎日が充実しています」とキッパリと感想を述べます。

今、語り継ぐ経営の心

3年後に迎える創業50周年。創業者の杉本清壽会長は、八十八歳の米寿と慶事が重なります。「まあ、そこまでは、会社で仕事せんならんやろね」。淡々とした語り口にも、現場第一でたたき上げて今日に至った仕事師の一端がのぞきます。来し方を振り返りながら、3年後をにらみ、経営の心を健一社長に語りました。

会長 いやあ、この47年間は短いようで長く、長いようで短い、大変な年月やった。社長にも妻の志真子にも苦勞をかけた。本当にご苦勞さんやった。心からお礼を申し上げたい。

社長 確かに大変でした。今から31年前ですか。オヤジと呼ばれて、東京から国許に戻り、清掃業を営むアドバンス北陸サービスなる会社に入ったのはいいですが、びっくりしました。会社といつても親子3人だけだったですよ。ね。なんじゃこりあ、冗談でしょって。
会長 そうやったなあ。そうや

「利他の精神」を大切に



杉本社長(左)に経営の心を伝授する会長=小松営業所

益につながるんだから。「利他の精神」を持ち続けんなんぞ。これまで営業を継続してきた私たちも、

を分からずにやってきた私としては目からウロコが落ちる思いです。身近なところで両親がお客様のために尽くす姿が何よりの社会勉強となってきました。

会長 わしは心と心でつながる仕事をしていくタイプだから。それとお客様にも従業員にも感謝の気持ちで常に接し大切にすること。世の中を渡るうちに学んだことや。
社長 そうでした。ね。杉本一族の家訓ですよ。もちろん、私も実践しています。優也にも伝えていかんなんと思っています。

会長 現代は何事も情報、先端技術やから、基本的に会社経営もそうしたことに対応していかねければならん。そんな意味では、社長は情報セキュリティのISO 27001の取得を提案し、社員を教育し、取得することが出来た。これはわが社の未来にとって、大きな意義があり、次世代へのステップとなった。

社長 人材はかけがえのない財産ですが、これからは、人には人にしかできない仕事を、AIにはAIにしかできない仕事をしっかりと選別していくのが、当社トップの役割だと考えています。

けど、自分や家族のことを思うなら、お客様のことを思うべきや。お客様のためにより良いサービスを提供するのが、長い目でみて社

今後を生きる君たちも、この精神を伝え実践していくことを大事にね。

社長 そうですね。商売の根本

*ISO27001 ISOはInternational Organization for Standardizationの略語で国際標準化機構のこと。国際間の取引をスムーズにするために、共通の基準を定める組織。この機関が定めているのがISO規格で、国際規格はそのまま国内規格となるため、国際取引がない会社にも適用される。9001(品質)、14001(環境)、27001(情報の安全)などがある。アドバンス北陸サービスは2014(平成26)年末、27001を取得した。

コマツ「発祥の地」もきれいに

私たちが

「いつも有難う」で元気

真心のこもったお仕事

お客様から

大型機械を展示する「こまつの杜」や研修センタ全般の清掃作業をパート従業員とともにを行っています。お客様から「いつも有難う」など励まされると元気が出ます。常に新しいことにチャレンジするわが社を誇りに思います。



アドバンス北陸サービス
コマツウェイ総合研修センター
現場作業長
寺田 晶子さん (43)



コマツウェイ総合研修センター
コーディネーションオフィス
業務課長
米沢 資子さん (52)

当施設ができて10年目に入りました。アドバンス北陸サービス様には当初から清掃をお願いしていますが、「こまつの杜」全般の細かいところまで行き届いており、とてもきれいにしてもらっています。真心のこもったお仕事です。

新規事業に挑戦する会社

アドバンス北陸サービス 小松営業所長



中田 悟さん (59)

色々な職種を経験して入社したのが3年前の8月。短い社歴ですが、現場を知り経験することとに徹し、ことし5月、小松営業所長を拝命しました。清掃業で、これほど積極的に新しいことに挑戦している会社は珍しいと思います。

人の心大切に仕事進める

アドバンス北陸サービス 日常清掃業務課長



松林 秀子さん (53)

主業務である清掃に携わっているパート職員約160人の管理監督、指導に当たっています。私自身、パートから出発し6年目に入りました。責任は重いですが、好きな仕事です。人の心を大切に、円滑に進捗するように頑張ります。

風通しの良い職場環境

アドバンス北陸サービス 日常清掃指導員補佐



吉野 晴華さん (24)

パート清掃員の指導を補佐しています。若いからと言って甘えは許されません。お客様の「ありがとう」をやりがいに、責任感と熱意をもって取り組んでいきます。社長や上司と話しやすい、風通しの良い職場環境は快適です。

社員に笑顔あふれている

アドバンス北陸サービス 業務課



佐々木 誠さん (34)

当社の良いところは、社長はじめ社員の多くに笑顔があふれていることです。小松市内の顧客先でワックス掛けやカーペット清掃、ガラス清掃などを行っています。お客様からの感謝の声に接すると、達成感で満たされます。

上下関係に距離感がない

アドバンス北陸サービス 営業事務



大河 富美恵さん (50)

営業に伴う事務や庶務の仕事を行って3年になります。過去に医療事務など多種多様な職種を経験しましたが、有形無形に生きています。当社は上下関係に距離感がないのいいところだと思います。これからも頑張ります。